

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらすための保健医療サービスを充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	支えあうまち・京（みやこ）のほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 居宅介護等の利用時間数(時間)	-	a	101,347	120,409	100,800	119.5%	a	1.00
2 グループホーム等の利用者数(人)	-	a	562	586	562	104.3%	a	1.00
3 自立支援医療の受給者数(人)	-	a	26,565	28,019	26,565	105.5%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	29	102	213	97	52	493	c	
	5.9%	20.7%	43.2%	19.7%	10.5%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
						市民生活実感調査総合評価		c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・障害のあるひとの地域移行が進んだことに伴い、在宅生活を支える福祉サービスの利用者数やグループホーム・ケアホームの利用者数が増加した。 ・また、障害のあるひとの増加に伴い、自立支援医療の受給者数も年々増加している。 ・これらのことから、客観指標は全てa評価となった。 ・他方、市民の実感についてはc評価とかい離があり、障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解を広げる必要性がうかがわれる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	24,413	26,395	良い	保健福祉局
2	発達障害者支援センター運営事業	72,187	79,458	良い	保健福祉局
3	心身障害児(者)訪問療育指導事業	16,999	18,655	普通	保健福祉局
4	在宅心身障害児(者)療育支援事業	23,125	25,304	かなり良い	保健福祉局
5	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	61,684	53,680	かなり良い	保健福祉局
6	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業 (元気家族リフレッシュサポート)	15,692	15,693	悪い	保健福祉局
7	介護従業者研修	3,409	3,859	良い	保健福祉局
8	障害児者ホームヘルプサービス□(家庭奉仕員)	392,068	386,018	普通	保健福祉局
9	盲人日常用具購入資金貸付事業	161	—	かなり悪い	保健福祉局
10	京都国際社会福祉センター運営補助	1,938	1,956	かなり良い	保健福祉局
11	身体障害者福祉会館運営	121,677	121,680	かなり良い	保健福祉局
12	京都ライトハウス運営助成	132,560	132,560	かなり良い	保健福祉局
13	身体障害者療護施設運営補助	67,663	67,664	かなり良い	保健福祉局
14	盲人ホーム運営助成	7,974	7,974	悪い	保健福祉局
15	民間障害福祉施設運営助成	354,652	360,194	かなり良い	保健福祉局
16	重症心身障害児(者)通園事業	91,251	—	良い	保健福祉局
17	児童療育センター運営事業	49,011	49,975	かなり良い	保健福祉局
18	精神科救急医療システム	105,496	108,500	—	保健福祉局
19	地域精神保健福祉対策	392,860	395,889	普通	保健福祉局
20	精神病院実地指導・実地審査	11,042	11,214	かなり良い	保健福祉局
21	障害者地域生活支援センター運営事業	394,721	407,532	かなり良い	保健福祉局
22	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	305,398	263,503	—	保健福祉局
23	京都市障害児タイムケア事業	71,444	85,646	かなり良い	保健福祉局
24	障害者自立支援医療特別対策	32,822	35,539	—	保健福祉局
25	発達障害児支援事業	24,196	24,196	かなり良い	保健福祉局
26	こころのサポート地域活動助成事業	—	57,299	—	保健福祉局
27	あんしん生活緊急サポート事業	7,228	7,147	良い	保健福祉局
28	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	3,903	3,823	かなり良い	保健福祉局
29	児童福祉センター療育事業委託	—	121,393	—	保健福祉局
30	心身障害児福祉会館管理運営	1,896	1,896	かなり良い	保健福祉局
31	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	11,698	18,414	普通	保健福祉局

32	放課後等デイサービス等設置促進事業	—	11,393	—	保健福祉局
33	京都市若杉学園	175,706	179,936	良い	保健福祉局
34	身体障害者リハビリテーションセンター	937,975	941,201	良い	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するためには、一人一人のニーズに応じたサービス提供が求められるとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホーム・ケアホームの設置促進等に努めていく必要がある。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進									
指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）										
担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1								
1 指標の説明											
障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣）の一月当たりの利用時間数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護の進捗状況を示す指標			算出方法：年間延べ利用時間数÷12月 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	101,347	120,409	19,062時間増	100,800	平成21年度現況値（91,932）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率を乗じて算出	119.5%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		当該指標については障害のある人の在宅生活に対する必要な支援の量を表すものであることから、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									

指標名	グループホーム等の利用者数（人）										
担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1								
1 指標の説明											
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標			算出方法：グループホーム等利用者全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	562	586	24人増	562	過去最高値	104.3%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の中間）値との間 c：上中間値と平均値の間 d：平均値と下中間値（平均値と最低値の間） e：下中間値以下		当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：562人（平成22年度） 平均値：498人 最低値：434人（平成20年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進									
指標名	自立支援医療の受給者数（人）										
担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1								
1 指標の説明											
自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標			算出方法：各医療の受給者全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	26,565	28,019	1,454人増	26,565	過去最高値	105.5%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の中間）値との間 c：上中間値と平均値の間 d：平均値と下中間値（平均値と最低値の間） e：下中間値以下		当該指標については、障害のある方の増加に伴い、医療の受給者数も増加が見込まれることから、過去4年間（19～22年度）の数値を基に、最高値以上をa，平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：26,565人（平成22年度） 平均値：24,318人 最低値：22,157人（平成19年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									